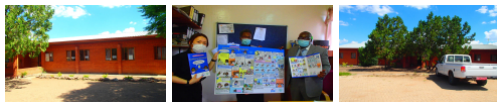


□ 要請番号 (JL50322A02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ボツワナ	G182 小学校教育	20～45歳のみ	グループ型	新規	2年	・ 2022/4 ・ 2023/1 ・ 2023/2 ・ 2023/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

基礎教育省

2) 配属機関名 (日本語)

マコロ小学校

3) 任地 (セントラル県セロエ) JICA事務所の所在地 (ハボロネ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

マコロ小学校は、ボツワナ国の首都ハボロネから約300km離れたセロエにある初等教育校である。1学年から7学年まで、324名の児童が在籍しており、ボツワナ国が定める基礎教育課程を学んでいる。各学年2～3クラスずつ設置されており、コロナ禍の現在は基礎教育省の方針により各クラス原則最大30名までで運営されているが、今後また状況によりクラス児童数は前後する可能性がある。2021年の小学校卒業試験(PSLE)の合格率は87.11%と高水準にあるが更なる改善を目指し、今後授業実践などを発信する地域の拠点となる小学校である。これまでにJICA海外協力隊の派遣実績はない。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ボツワナ国の初等教育課程は、該当する就学児童に対して無償で提供され、就学率も90%以上と他のサブサハラ地域の国と比べて高い。しかしながら国際数学・理科教育動向調査によれば、ボツワナ国の理科・算数の学力は国際標準の平均以下であり、大きな課題となっている。ボツワナ国の基礎教育省もこの課題について認識しており、JICA海外協力隊による児童への直接的指導、教職員への教授法指導、日本の教授法の紹介、教材作成などの活動が児童の学力向上に繋がることを期待し、当該校へのボランティア派遣の要請となった。小学校卒業試験(PSLE)の合格率が習熟度の指標となっており、各校で算出される数値が具体的な改善目標として掲げられている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚と協力し、以下の活動を行う。

- 主に算数と理科の授業において補助的な役割を担う。(理科の実験補助を含む)
- 教材研究・指導案作成・授業準備の補助を行う。
- 適切な評価教材作成の補助を行う。
- 同僚に対し授業改善のための助言を行ったり、簡単なICT操作などについて補助をする。
- 地域のモデルスクールとして確立するための活動を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、いす、(PC)

4) 配属先同僚及び活動対象者

副校長(男性)

教員(男女 11名)
他サポートスタッフ(男女 6名)
児童(男女 約320名)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	英語	英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（小学校教諭）
（中学校又は高等学校教諭（数学））

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（大卒）教育学 備考：同僚職員が大卒のため

[経験]：（指導経験）2年以上 備考：現場での指導を行うため
（教員経験）3年以上 備考：クラス管理能力が必要なため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（0～40℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

【類似職種】

・ 数学教育
・ 理科教育

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。